

第66回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月27日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第66回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○三浦災害対策副本部長

- ・本日、天皇皇后両陛下の行幸啓が本県で行われるため、村井本部長は欠席である。
- ・南三陸町、仙台市宮城野区を赴かれましてご視察、避難所で激励を賜る予定である。

○若生災害対策副本部長

- ・宮城県内産の農林畜産物の放射能調査結果について、安全性に問題なし。
- ・本日より項目に原木しいたけを追加した。
- ・県民の皆様には引き続きご安心いただき、たくさん県産品を召し上がっていただきたい。

○菊地危機対策課長

- ・避難所433施設。石巻市、南三陸町、女川町から大崎市へ二次避難が進んだことから、13施設増加している。
- ・各部局の被害状況は、全体で95億ほど増加した。
- ・気象情報等は、資料のとおりである。

○今野総務部長

- ・プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社から普通自動車13台の寄贈いただいた。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・大島汽船について、本日から気仙沼―大浦(浦ノ浜港)間、フェリー1日8往復、旅客船1日5往復で運行する。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所事故に係るモニタリング結果、ほぼ横ばいの状況である。

○岡部保健福祉部長

- ・活動ボランティアは総勢1,799人であり、石巻方面が活動状況の減少傾向である。日々変動している。
- ・応急仮設住宅関係について、第一陣として8市5町1,312戸完成。明日から入居が始まる。
- ・4月28日、塩釜市内の伊保石の仮設で14時から入居が開始する。

○河端経済商工観光部長

- ・特に変更なし。

○千葉農林水産部長

- ・被害額について、集落排水施設破損等による被害額について64億円増となった。

○橋本土木部長

- ・被害状況について、港湾関係で22億円ほど増えている。
- ・災害査定が行われる。日程については、河川局所管の河川・道路について5月10日から

実施する。今回は、発災後初めての査定になるので、概況説明及び現地査定について、取材が可能である。

- ・国道45号線の小泉大橋について、仮橋工事に着手する。
- ・建設海岸について、仙台湾沿岸仙台南部海岸31.7kmの災害復旧は国土交通省の実施が決定し、4月25日から山元海岸、中浜地区に着手する。
- ・石巻港において、地震発生後初の一般貨物船が入港する。4月27日15時00分の予定である。
- ・仙台空港について4月29日から1便増えて9往復となる。札幌便の増である。
- ・仙塩流域下水道で国土交通省からポンプ車を借りて対応していたが、26日撤収した。

○自衛隊

- ・前日から大きな変化はなし。

○竹内警察本部長

- ・昨日は、ご遺体43体収容。遺体累計8,743体収容である。
- ・8,526体のご遺体を引渡し。引渡率は、97.5%である。
- ・天皇皇后両陛下の行幸啓の警備に万全を期す。

○教育委員会

- ・避難所として使用していた学校が9校減少。82校となっている。

○伊藤企業局長

- ・特になし。

○政府現地対策本部

- ・本日夕刻、総理大臣官邸において、中央防災会議が開催される。議題はこれまでの地震・

津波対策及び今後の進め方である。

・東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律案が昨日閣議決定され、国会に提出されている。

○三浦災害対策副本部長

次回は4月28日10時00分に開催する。